

視覚障害者のための iPad 体験会 in 鳥取

目的

近年、進化しているタブレット付携帯情報端末(ここでは iPad)は、情報障害となりやすい視覚障害の人々の情報活用を支援するツールとなる可能性を持っている。同端末を実際に視覚障害のある子どもやその保護者、担任等の関係者に触ってもらうことで、iPad の有効性や限界を、実感を伴って理解してもらう。

模擬授業等を通して、学校教育での活用の可能性を検討するための情報を得る。

1. 日時

期日：2012年5月12日(土)

時間：13:00~16:00(準備・片づけを入れて、12:00~17:00)

2. 場所：米子サン・アビリティーズ

〒683-0003 鳥取県米子市皆生 3-16-20 0859-23-0699

3. 主催：弱視親子の会

民間研究室(広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座)

共催：広島大学大学院教育学研究科特別支援教育学講座

広島大学大学院教育学研究科附属特別支援教育実践センター

後援：広島大学大学院教育学研究科

4. 対象

弱視の小中高校・大学生及びその保護者等の関係者

(今回は、音声機能を利用しませんので、そのことを十分にご理解ください)

5. プログラム

準備(12:00~13:00)

第1部(13:00~14:00)

自己紹介

(1) iPad2 に触ってみよう

- ・基本操作を体験して学ぼう。

(デジタルプレゼンテーションを体験していただきます)

(2) 絵を描く／メモを取るアプリを使ってよう。

休憩（14：00～14：10）

第2部（14：10～15：00）

（1）いろいろなアプリを使ってみよう

- ・アプリで長さを測ろう。
- ・アプリで角度を測ろう。
- ・アプリで地図を見てみよう。
- ・アプリで心拍数を測ってみよう。
- ・アプリで日用視力を測定してみよう。

（2）iPadのカメラ機能を見てみよう。

- ・iPad2を視覚補助具として、近くの物、遠くの物を見てみよう。
- ・写真やビデオを撮ってみよう。
- ・撮った写真やビデオを見てみよう。

休憩（15：00～15：10）

第3部（15：10～16：00）

（1）模擬授業

- ・アプリ操作の練習をかねて短時間の授業形式で、iPadを体験してみよう。

（2）意見交換

- ・半日の体験を終えて、感じたこと、考えたことを交換してみよう。

後片付け（16：00～17：00）

6. 連絡先

〒739-8524 広島県東広島市鏡山1丁目1番1号 広島大学教育学部 氏間研究室

Tel/Fax 082-424-7175

メール ujima@hiroshima-u.ac.jp

7. 備考

参加費は無料です。

本事業は、科学研究費補助金（基盤（C））「弱視者等の読書評価と教材表示支援システムの開発と評価」（課題番号：23531302）の補助を受けています。